

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <http://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 平井 裕文

TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,431	36.2	3,749	42.8	3,756	42.1	2,174	42.9
21年3月期第3四半期	6,924	—	2,626	—	2,644	—	1,521	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	7,559.75	7,523.71
21年3月期第3四半期	5,303.36	5,277.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	15,376	9,041	57.9	30,930.06
21年3月期	12,938	7,126	54.0	24,332.48

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,909百万円 21年3月期 6,992百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				1,500.00	1,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	32.8	5,200	32.8	5,200	32.1	3,000	32.1	10,414.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 288,054株 21年3月期 287,358株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 287,666株 21年3月期第3四半期 286,896株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、厳しい雇用情勢が続いているものの、財政出動を伴う経済対策の効果等により、個人消費は回復の兆しを見せつつあります。

一方、当社グループを取り巻く環境におきましては、わが国のインターネット利用者は平成20年12月末時点で対前年比280万人増の9,091万人、人口普及率は対前年比2.3ポイント増の75.3%となり、インターネット利用人口は増加し続けております。ブロードバンド契約数は平成21年6月末時点で3,093万契約となり、インターネット利用環境の普及が進んでおります。(総務省調べ)

また、わが国のネットビジネスにおけるB to C E C(消費者向け電子商取引)の市場は、平成22年度で約7兆6,636億円、コンテンツの製作費を除いたインターネット広告市場は約6,982億円と推計され、いずれも前期を上回り、順調な市場の拡大が報告されております。(㈱野村総合研究所調べ)

このような状況のもと、当社グループにおきましては、購買支援サイト『価格.com』を始めとして、ランキングとクチコミのグルメサイト『食ベログ』など、複数のグループサイトが月間利用者数及びページビュー数を伸ばす結果となりました。各グループサイトがそれぞれグループ全体の業績を牽引することで、日本を代表するインターネット・メディア・カンパニーとしての地位を確立しつつあります。

平成21年12月度における当社グループ運営の各サイト利用状況は、購買支援サイト『価格.com』のパソコンによる月間利用者数約2,293万人、携帯電話による月間利用者数約209万人、月間総ページビュー数約8億5,010万ページビュー、ランキングとクチコミのグルメサイト『食ベログ』のパソコンによる月間利用者数約1,235万人、携帯電話による月間利用者数約203万人、月間総ページビュー数約2億3,560万ページビュー、旅行のクチコミサイト『フォートラベル』のパソコンによる月間利用者数約271万人、携帯電話による月間利用者数約46万人、月間総ページビュー数約2,654万ページビューとなり、グループ全体で月間利用者数約4,604万人、月間総ページビュー数約11億4,926万ページビューとなりました。

なお、本社オフィスの分散を解消し業務効率の向上を図る目的で、当連結会計年度中に本社移転を予定しており、第2四半期連結累計期間において特別損失として廃棄予定固定資産の減損損失28百万円、当第3四半期連結累計期間において特別損失として事務所移転費用引当金繰入額29百万円を計上しております。(なお、平成22年2月1日に当該移転は完了しております。)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)における当社グループの業績は、売上高9,431百万円(前年同期比36.2%増)、営業利益3,749百万円(前年同期比42.8%増)、経常利益3,756百万円(前年同期比42.1%増)、四半期純利益は2,174百万円(前年同期比42.9%増)となりました。当第3四半期連結会計期間(3ヶ月)における当社グループの業績は、売上高3,494百万円(前年同期比36.0%増)、営業利益1,491百万円(前年同期比52.9%増)、経常利益1,493百万円(前年同期比52.4%増)、四半期純利益は866百万円(前年同期比52.7%増)となりました。

(1) インターネット・メディア事業

当第3四半期連結累計期間(9ヶ月)のインターネット・メディア事業売上高は9,080百万円(前年同期比40.0%増)、営業利益は3,712百万円(前年同期比46.1%増)となりました。当第3四半期連結会計期間(3ヶ月)のインターネット・メディア事業売上高は3,378百万円(前年同期比40.1%増)、営業利益は1,482百万円(前年同期比60.3%増)となりました。

集客サポート業務が大幅な増収・増益となり、その他の業務につきましても売上高・利益とも堅調に推移いたしました。旅行関連業務につきましても、旅行需要の減退により、減収となりましたが、全体として売上高・営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。

[集客サポート業務]

集客サポート業務におきましては、当社運営サイト『価格.com』における価格比較サービスにおきまして、新機能の追加やサイトの継続的な改善によりユーザー利便性を向上させたことで、利用者数が増加いたしました。加えて、ショッピングサーチサービスにおいてサイトのリニューアル等の効果により利用者が増加したことから、成果報酬型の収入が増加いたしました。また、平成21年4月より当社運営サイト『食ベログ』において、飲食店向け有料サービスを開始し、課金レストラン数が順調に増加したことから、増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,849百万円(前年同期比59.6%増)となりました。

[広告業務]

広告業務におきましては、国内景気の悪化により広告市場全体が縮小傾向にありましたが、当社運営サイト『価格.com』の利用者数増加により、同サイトのバナー・テキスト広告、リスティング広告ともに大幅に増加いたしました。さらに、当社運営サイト『食ベログ』の広告売上も利用者の増加に伴い増加いたしました。加えて、平成21年7月より、当社運営サイト『スマイティ』の有料サービスが開始されたこと、平成21年4月より子会社㈱エイガ・ドットコムが連結対象となったことで、増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,164百万円(前年同期比21.7%増)となりました。

〔販売サポート業務〕

販売サポート業務におきましては、当社運営サイト『価格.com』のプロバイダ比較コンテンツにおきまして、サイトのユーザー利便性を向上させたことに加え、高い集客力を背景とした当社独自プランの取扱いにより、当社経由の加入者数は引き続き堅調に推移いたしました。また、当社運営サイト『yoyaQ.com』におきまして、取扱いホテル数が増加し、利用者数が増加したことで、増収となりました。

なお、当社運営の高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』に係わる収益は、予約事業全般への展開を図るという事業方針の転換から、平成21年3月期第3四半期連結会計期間より旅行関連業務から販売サポート業務に計上することに変更いたしております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,256百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

〔情報提供業務〕

情報提供業務におきましては、当社運営サイト『価格.com』における自動車カテゴリの全面リニューアルにより、自動車保険比較・見積サービスや中古車検索サービスなどの自動車関連サービスの申込件数が大幅に増加したことにより増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は500百万円（前年同期比102.1%増）となりました。

〔旅行関連業務〕

旅行関連業務におきましては、連結子会社フォートラベル㈱運営サイト『フォートラベル』におきまして、利用者数が増加したものの、国内景気の悪化に加え、新型インフルエンザの流行により旅行需要が急速に落ち込んだことから、旅行商品の取扱い高と広告売上高がともに減少いたしました。

なお、当社運営の高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』に係わる収益は、予約事業全般への展開を図るという事業方針の転換から、平成21年3月期第3四半期連結会計期間より旅行関連業務から販売サポート業務に計上することに変更いたしております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は309百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

(2) ファイナンス事業

当第3四半期連結累計期間（9ヶ月）のファイナンス事業売上高は352百万円（前年同期比19.4%減）、営業利益は35百万円（前年同期比56.7%減）となりました。当第3四半期連結会計期間（3ヶ月）のファイナンス事業売上高は115百万円（前年同期比26.3%減）、営業利益は8百万円（前年同期比83.0%減）となりました。

外国為替証拠金取引業務は、顧客のアクティビティの低下により、手数料収入が減少し、減収となりました。一方、保険代理店業務は契約件数が増加し増収となりましたが、ファイナンス事業全体としては減収となりました。

〔外国為替証拠金取引業務〕

外国為替証拠金取引業務におきましては、連結子会社㈱カカコム・フィナンシャルによる外国為替証拠金取引業務において、株価の低迷によりリスク資産への投資総額が減少し、顧客のアクティビティが低下したことで、手数料売上は前年同期を下回る水準で推移いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は146百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

〔保険代理店業務〕

保険代理店業務におきましては、連結子会社㈱カカコム・インシュアランスによる保険代理店業務において、新規契約に加え、契約更新による契約件数も順調に増加したことから、契約手数料収入が増加したことに加え、保険契約件数が増加したことに伴い保険会社からのボーナス収入が増加いたしました。また、過年度契約商品からの手数料収入も堅調に増加し、増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は205百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期末の総資産額は15,376百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,437百万円増加いたしました。現金及び預金1,437百万円の増加、外国為替証拠金取引業務における顧客分別金信託580百万円の増加が主な要因となっております。

なお、連結貸借対照表上の現金及び預金と、連結キャッシュ・フロー計算書の現金及び現金同等物の四半期末残高との差額28百万円は、外国為替証拠金取引において顧客分別金信託に預け入れた資金の内、顧客からの預り保証金を上回る、現金及び現金同等物と考えられる資金であります。

(負債)

負債の残高は6,335百万円となり、前連結会計年度末と比較し523百万円増加いたしました。ブロードバンド回線取次業務の拡大による買掛金713百万円の増加が主な要因となっております。

(純資産)

純資産は9,041百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,914百万円増加いたしました。利益剰余金1,784百万円の増加が主な要因となっております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成21年11月5日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び連結子会社は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,461,897	6,024,589
顧客分別金信託	3,432,000	2,852,000
受取手形及び売掛金	2,124,770	1,752,603
繰延税金資産	140,859	179,184
その他	477,304	572,266
貸倒引当金	△9,960	△10,667
流動資産合計	13,626,871	11,369,975
固定資産		
有形固定資産	347,768	218,476
無形固定資産		
のれん	489,673	530,098
ソフトウェア	432,654	377,821
その他	43,759	69,647
無形固定資産合計	966,086	977,566
投資その他の資産		
その他	448,499	382,663
貸倒引当金	△12,894	△10,039
投資その他の資産合計	435,605	372,623
固定資産合計	1,749,460	1,568,667
資産合計	15,376,331	12,938,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,124,818	411,189
未払法人税等	647,673	1,186,423
預り保証金	3,746,661	3,434,036
賞与引当金	78,203	177,141
事務所移転費用引当金	29,269	—
その他	645,082	534,253
流動負債合計	6,271,708	5,743,044
固定負債		
繰延税金負債	53,783	56,950
その他	9,556	11,881
固定負債合計	63,340	68,831
負債合計	6,335,048	5,811,876

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,269	549,064
資本剰余金	1,065,124	998,919
利益剰余金	7,229,133	5,444,148
株主資本合計	8,909,527	6,992,132
少数株主持分	131,755	134,634
純資産合計	9,041,283	7,126,767
負債純資産合計	15,376,331	12,938,643

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,924,008	9,431,951
売上原価	1,371,748	2,077,106
売上総利益	5,552,259	7,354,844
販売費及び一般管理費	2,926,003	3,604,993
営業利益	2,626,256	3,749,851
営業外収益		
受取利息	20,382	5,670
その他	2,055	2,020
営業外収益合計	22,437	7,691
営業外費用		
株式交付費	3,920	913
その他	395	198
営業外費用合計	4,316	1,111
経常利益	2,644,376	3,756,431
特別利益		
固定資産受贈益	1,404	—
投資有価証券売却益	4,011	—
特別利益合計	5,415	—
特別損失		
事務所移転費用引当金繰入額	—	29,269
事務所移転費用	6,258	—
投資有価証券評価損	2,865	—
固定資産売却損	1,700	—
減損損失	—	28,681
その他	70	119
特別損失合計	10,896	58,069
税金等調整前四半期純利益	2,638,895	3,698,361
法人税、住民税及び事業税	1,069,570	1,490,377
法人税等調整額	30,609	35,754
法人税等合計	1,100,179	1,526,131
少数株主利益又は少数株主損失(△)	17,202	△2,453
四半期純利益	1,521,512	2,174,683

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,568,980	3,494,318
売上原価	539,877	747,734
売上総利益	2,029,102	2,746,583
販売費及び一般管理費	1,053,509	1,254,909
営業利益	975,592	1,491,674
営業外収益		
受取利息	4,396	1,595
その他	624	424
営業外収益合計	5,021	2,020
営業外費用		
株式交付費	402	349
為替差損	255	—
その他	84	50
営業外費用合計	742	400
経常利益	979,871	1,493,294
特別利益		
固定資産受贈益	1,404	—
特別利益合計	1,404	—
特別損失		
事務所移転費用引当金繰入額	—	29,269
事務所移転費用	6,258	—
特別損失合計	6,258	29,269
税金等調整前四半期純利益	975,016	1,464,025
法人税、住民税及び事業税	369,190	566,568
法人税等調整額	35,571	31,164
法人税等合計	404,761	597,732
少数株主利益又は少数株主損失(△)	2,693	△189
四半期純利益	567,561	866,482

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,638,895	3,698,361
減価償却費	251,739	262,489
減損損失	—	28,681
のれん償却額	98,005	77,398
事務所移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	29,269
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,728	△98,937
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,791	2,147
受取利息及び受取配当金	△20,382	△5,670
為替差損益(△は益)	—	△382
支払利息	127	152
株式交付費	3,920	913
投資有価証券評価損益(△は益)	2,865	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,011	—
固定資産売却損益(△は益)	1,700	—
固定資産受贈益	△1,404	—
事務所移転費用	6,258	—
売上債権の増減額(△は増加)	△291,483	△354,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,105	△5,873
仕入債務の増減額(△は減少)	248,712	713,628
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,544	△54,858
未払金の増減額(△は減少)	△15,941	45,711
前受金の増減額(△は減少)	△1,106	△622
その他	74,215	11,823
小計	2,978,826	4,350,220
利息及び配当金の受取額	21,730	8,508
利息の支払額	△127	△153
法人税等の支払額	△1,296,466	△2,026,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,703,962	2,331,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	60,000	—
有形固定資産の取得による支出	△113,181	△235,994
無形固定資産の取得による支出	△160,361	△210,517
投資有価証券の取得による支出	△7,350	—
投資有価証券の売却による収入	4,860	—
敷金及び保証金の差入による支出	△73,228	△137,648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△289,261	△584,160

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	117,334	131,496
配当金の支払額	△128,663	△343,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,329	△212,267
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	382
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,403,372	1,535,900
現金及び現金同等物の期首残高	3,339,806	5,939,201
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	14,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,743,178	7,489,942

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	インターネット・メディア事業 (千円)	ファイナンス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,411,600	157,379	2,568,980	—	2,568,980
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	37	—	37	(37)	—
計	2,411,638	157,379	2,569,017	(37)	2,568,980
営業利益	925,249	49,087	974,336	1,256	975,592

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

事業区分	主要なサービス等
インターネット・メディア事業	購買支援サイト『価格.com』の運営 高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』の運営 旅行のクチコミサイト『フォートラベル』の運営 グルメ・レストランのクチコミサイト『食べログ.com』の運営 新築マンション検索サイト『マンションDB』の運営
ファイナンス事業	外国為替証拠金取引のオンライントレードサービスの提供 生命保険および損害保険の代理店業務

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	インターネット・メディア事業 (千円)	ファイナンス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,378,351	115,966	3,494,318	—	3,494,318
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,378,351	115,966	3,494,318	—	3,494,318
営業利益	1,482,743	8,331	1,491,074	600	1,491,674

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

事業区分	主要なサービス等
インターネット・メディア事業	購買支援サイト『価格.com』の運営 高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』の運営 旅行のクチコミサイト『フォートラベル』の運営 ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』の運営 新築マンション検索サイト『マンションDB』の運営 総合映画情報サイト『eiga.com』の運営
ファイナンス事業	外国為替証拠金取引のオンライントレードサービスの提供 生命保険および損害保険の代理店業務

3. 第1四半期連結会計期間より、㈱エイガ・ドット・コムを連結子会社としたことによりインターネット・メディア事業における主要なサービスに総合映画情報サイト『eiga.com』の運営が加わりました。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	インターネット・メディア事業 (千円)	ファイナンス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,486,940	437,067	6,924,008	—	6,924,008
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	809	—	809	(809)	—
計	6,487,750	437,067	6,924,818	(809)	6,924,008
営業利益	2,540,828	82,512	2,623,341	2,915	2,626,256

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

事業区分	主要なサービス等
インターネット・メディア事業	購買支援サイト『価格.com』の運営 高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』の運営 旅行のクチコミサイト『フォートラベル』の運営 グルメ・レストランのクチコミサイト『食べログ.com』の運営 新築マンション検索サイト『マンションDB』の運営
ファイナンス事業	外国為替証拠金取引のオンライントレードサービスの提供 生命保険および損害保険の代理店業務

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	インターネット・メディア事業 (千円)	ファイナンス事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,079,820	352,130	9,431,951	—	9,431,951
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	720	—	720	(720)	—
計	9,080,540	352,130	9,432,671	(720)	9,431,951
営業利益	3,712,327	35,724	3,748,051	1,800	3,749,851

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の主な内容

事業区分	主要なサービス等
インターネット・メディア事業	購買支援サイト『価格.com』の運営 高級ホテル・旅館予約サイト『yoyaQ.com』の運営 旅行のクチコミサイト『フォートラベル』の運営 ランキングとクチコミのグルメサイト『食べログ』の運営 新築マンション検索サイト『マンションDB』の運営 総合映画情報サイト『eiga.com』の運営
ファイナンス事業	外国為替証拠金取引のオンライントレードサービスの提供 生命保険および損害保険の代理店業務

3. 第1四半期連結累計期間より、㈱エイガ・ドット・コムを連結子会社としたことによりインターネット・メディア事業における主要なサービスに総合映画情報サイト『eiga.com』の運営が加わりました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。